



## 2020年 3月期 第2四半期決算説明会

---

2019年(令和元年)11月21日

ネットレン

高周波熱錬株式会社



- I. 2020年 3月期 第2四半期の概要**
- II. 経営実績の推移**
- III. 第14次中期経営計画の状況**
- IV. 新技術・新商品・新規事業の開発と市場投入**

# I. 2020年 3月期 第2四半期の概要

# 1. 2020年3月期第2四半期 連結決算の概要



(単位:百万円)

	2018年 9月期 *	2019年 9月期 **	増 減	増減率 (%)	2020年 3月期予想
売 上 高	26,080	24,936	▲1,143	▲4.4	50,700
営 業 利 益	1,894	1,054	▲840	▲44.3	2,800
経 常 利 益	2,268	1,155	▲1,113	▲49.1	3,000
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,377	571	▲806	▲58.5	1,600

\* 2018年9月期は、2019年3月期第2四半期を示す。

\*\* 2019年9月期は、2020年3月期第2四半期を示す。

(注) 換算レート 2020年3月期予想 1中国元=15円、1USドル=108円

## 2. 連結損益計算書

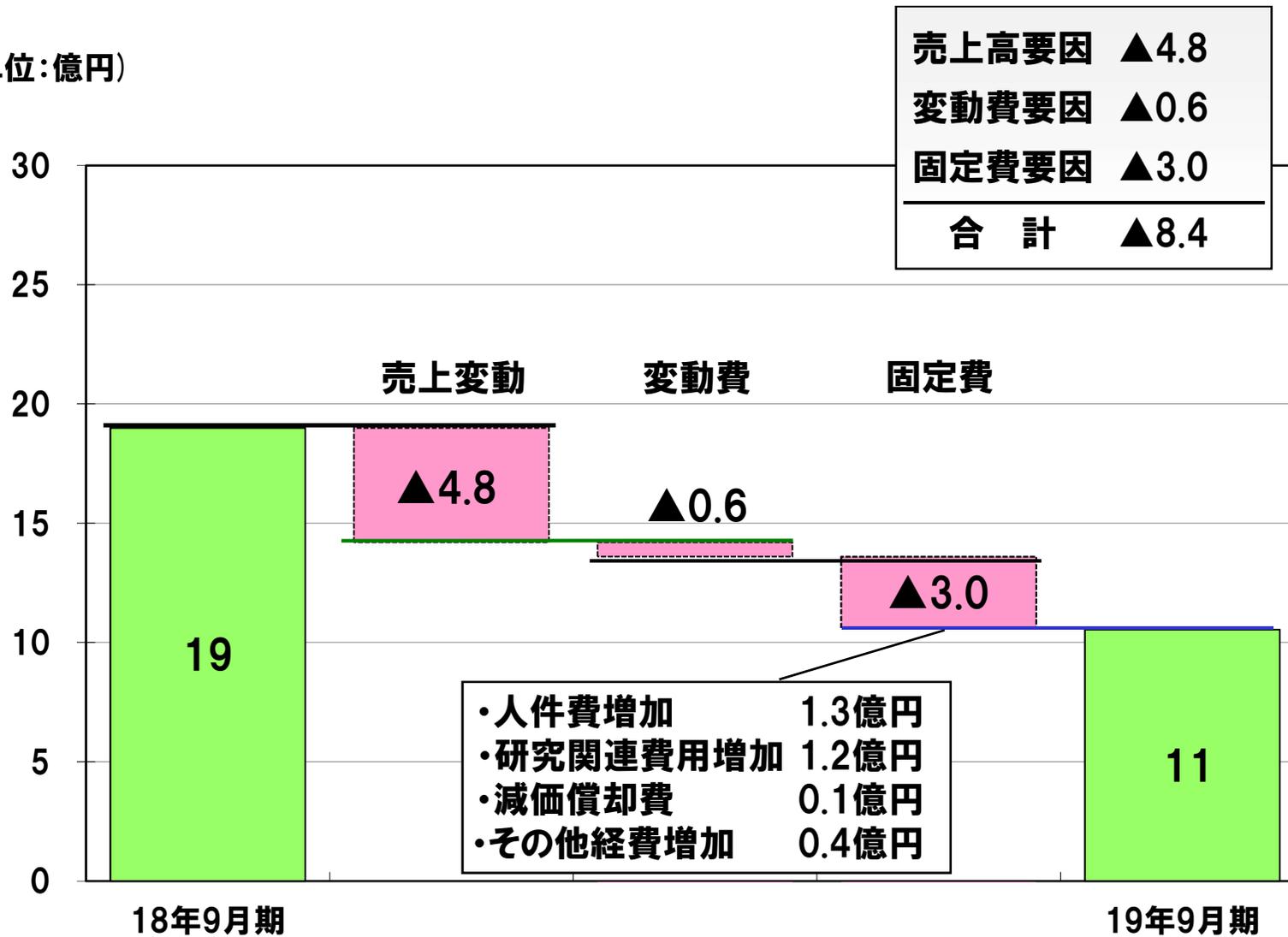


(単位:百万円)

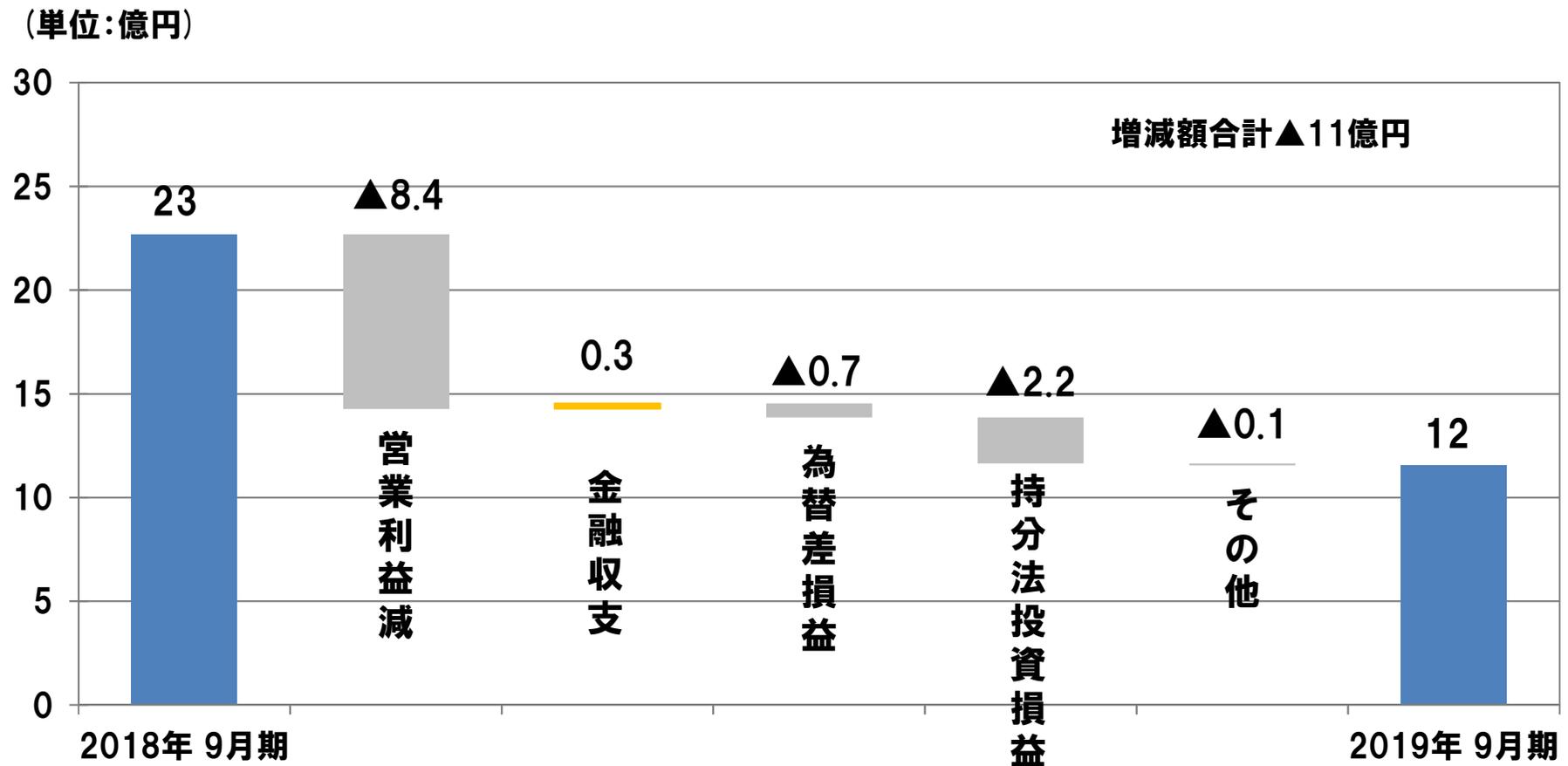
科目	期別	2018年 9月期	2019年 9月期	増減	増減率 (%)	2019年 3月期
売上高		26,080	24,936	▲1,143	▲4.4	53,015
売上原価		20,268	19,805	▲463	▲2.3	41,756
売上総利益		5,811	5,131	▲679	▲11.7	11,259
販売費及び一般管理費		3,916	4,077	160	4.1	7,690
営業利益		1,894	1,054	▲840	▲44.3	3,569
営業外収益		400	281	▲119	▲29.8	595
営業外費用		26	180	153	568.6	84
経常利益		2,268	1,155	▲1,113	▲49.1	4,080
特別利益		4	19	14	292.9	432
特別損失		20	27	7	33.9	2,496
税金等調整前四半期(当期)純利益		2,252	1,146	▲1,105	▲49.1	2,016
法人税、住民税及び事業税		606	354	▲251	▲41.5	876
法人税等調整額						▲367
四半期(当期)純利益		1,646	792	▲854	▲51.9	1,507
(内訳)						
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益		1,377	571	▲806	▲58.5	950
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益		268	220	▲48	▲18.1	556

### 3. 営業利益の増減要因

(単位:億円)



## 4. 経常利益の増減要因



# 5. 2020年3月期第2四半期 連結決算 (単独期間) の概要

(単位:百万円)

	2019年 3月期	2020年3月期		前年同期比		直前四半期比	
	第2四半期	第1四半期	第2四半期	増減額	増減率(%)	増減額	増減率(%)
製品事業部関連事業	6,946	6,906	6,688	▲258	▲3.7%	▲218	▲3.2%
IH事業部関連事業	5,743	5,990	5,284	▲458	▲8.0%	▲706	▲11.8%
その他	33	34	32	0	▲0.0%	▲2	▲5.9%
<b>売上高</b>	<b>12,723</b>	<b>12,931</b>	<b>12,005</b>	<b>▲718</b>	<b>▲5.6%</b>	<b>▲926</b>	<b>▲7.2%</b>
製品事業部関連事業	373	125	112	▲261	▲70.0%	▲13	▲10.4%
IH事業部関連事業	414	506	275	▲139	▲33.6%	▲231	▲45.7%
その他	14	21	14	0	▲0.0%	▲7	▲33.3%
<b>営業利益</b>	<b>802</b>	<b>653</b>	<b>401</b>	<b>▲401</b>	<b>▲50.0%</b>	<b>▲252</b>	<b>▲38.6%</b>
<b>経常利益</b>	<b>986</b>	<b>734</b>	<b>421</b>	<b>▲564</b>	<b>▲57.2%</b>	<b>▲313</b>	<b>▲42.6%</b>
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	<b>558</b>	<b>342</b>	<b>229</b>	<b>▲329</b>	<b>▲59.0%</b>	<b>▲113</b>	<b>▲33.0%</b>

※ 前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

## 6. セグメント情報 (連結売上高)

(単位:百万円)

事業区分	主な製品・サービス	2018年 9月期	2019年 9月期	増 減	増減率(%)	2019年 3月期
製品事業部 関連事業	PC鋼棒関連製品 高強度ばね鋼線ITW® 自動車部品 建設機械部品 工作機械部品	14,227	13,594	▲633	▲4.5	28,462
I H事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置	11,786	11,275	▲511	▲4.3	24,422
そ の 他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	65	66	1	2.4	130
合 計		26,080	24,936	▲1,143	▲4.4	53,015

## 7. セグメント情報 (連結営業利益)

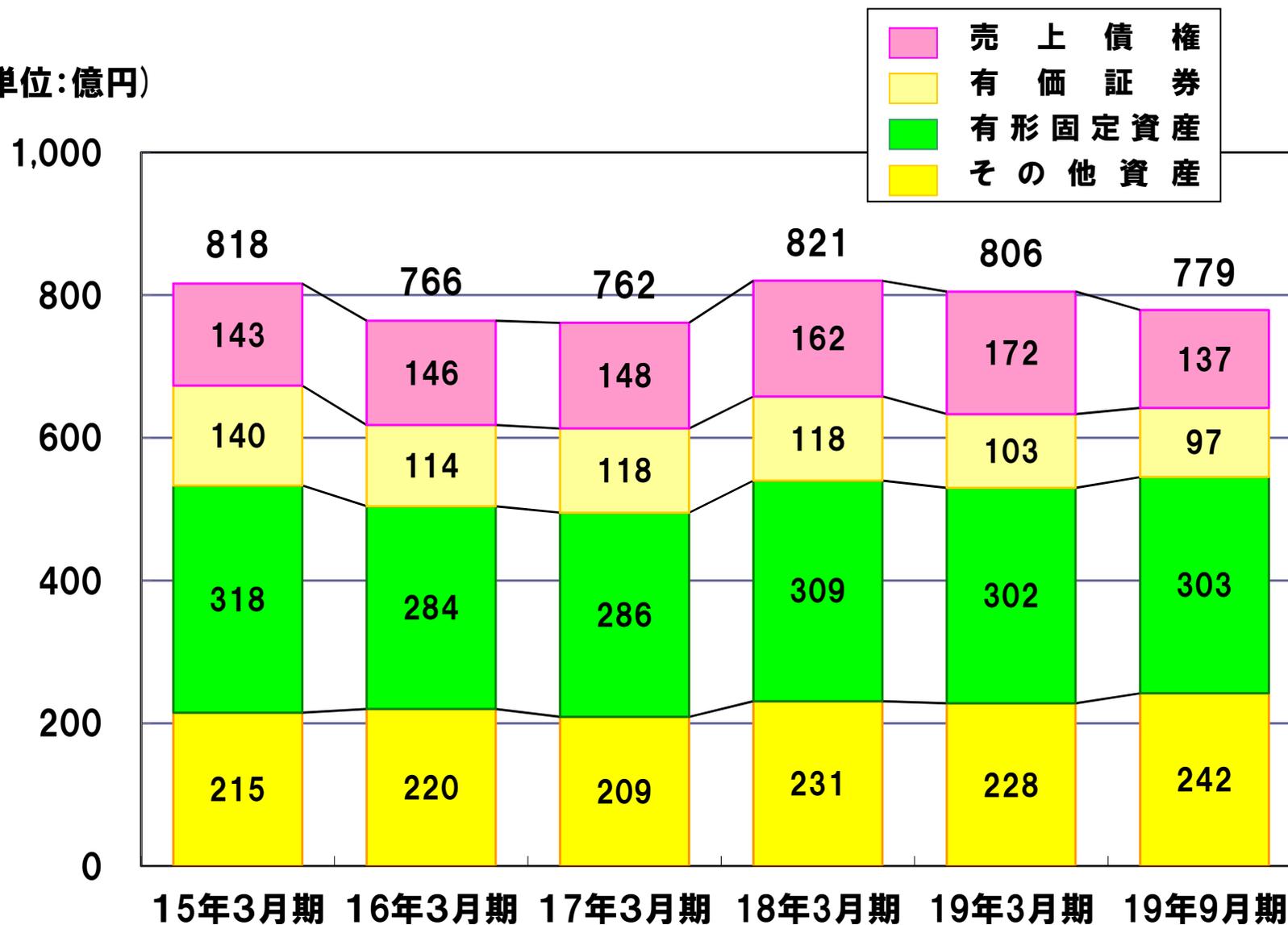


(単位:百万円)

事業区分	主な製品・サービス	2018年 9月期	2019年 9月期	増 減	増減率(%)	2019年 3月期
製品事業部 関連事業	PC鋼棒関連製品 高強度ばね鋼線ITW <sup>®</sup> 自動車部品 建設機械部品 工作機械部品	902	237	▲664	▲73.7	1,559
I H事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置	963	781	▲181	▲18.8	1,984
そ の 他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	29	30	1	5.7	57
合 計		1,894	1,050	▲844	▲44.6	3,601

# 8. 2019年9月期 資産残高の推移 (連結)

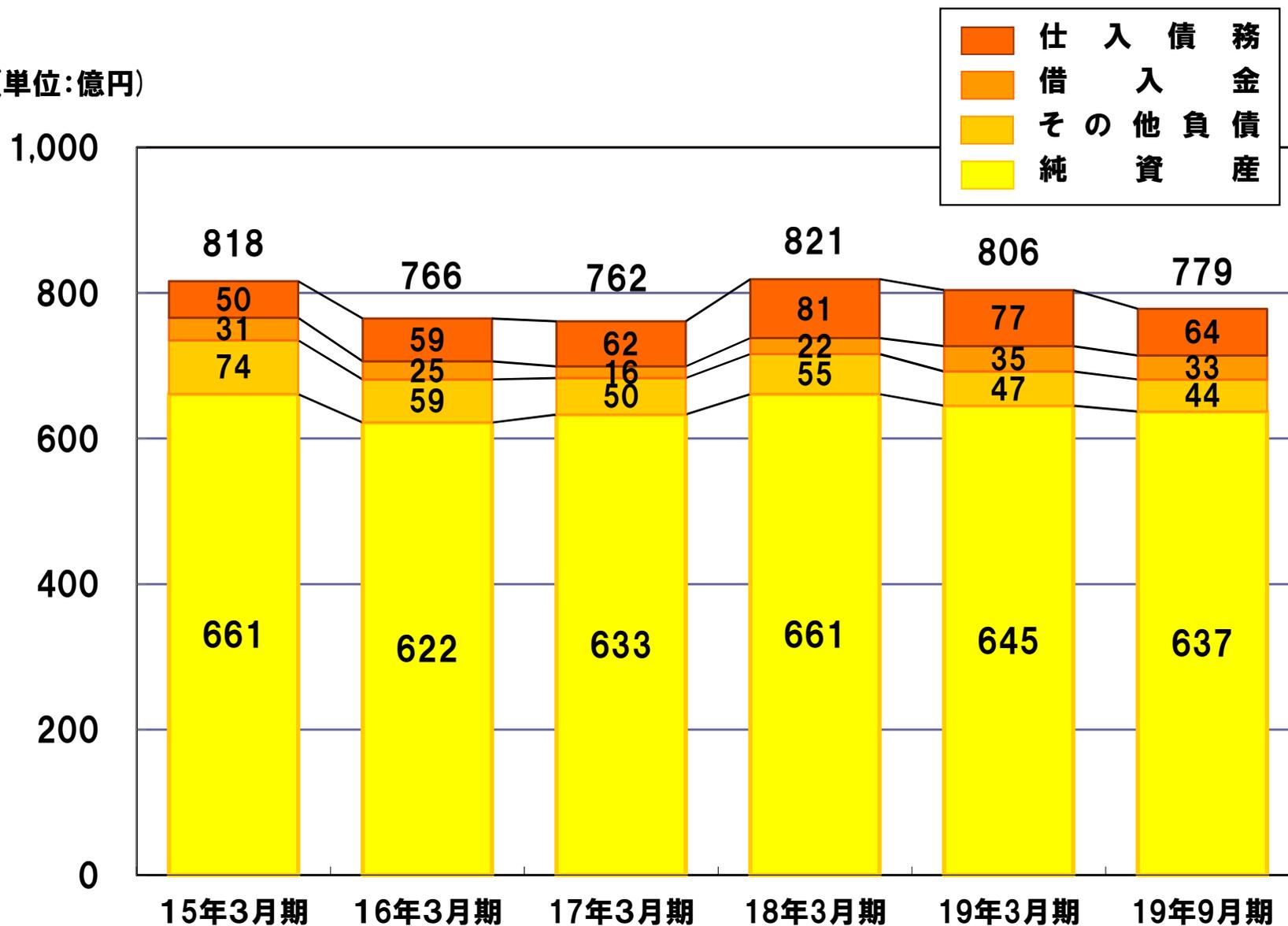
(単位:億円)



# 9. 2019年9月期 負債・純資産残高の推移 (連結)



(単位:億円)



# 10. 2020年9月期 キャッシュ・フロー (連結)



(単位:百万円)

科 目	2018年 9月期	2019年 9月期	前年同期比 増 減	2019年 3月期
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,252	1,146	▲1,105	2,016
減価償却費	1,526	1,536	9	3,267
減損損失	-	-	-	1,950
売上債権の増減	656	3,404	2,747	▲1,212
仕入債務の増減	▲310	▲1,328	▲1,017	▲281
その他	▲964	▲143	820	▲1,116
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,160	4,615	1,454	4,622
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,682	▲1,765	1,916	▲5,510
フリーキャッシュ・フロー	▲521	2,850	3,371	▲887
借入金	1,579	▲267	▲1,847	1,316
自己株式の取得	▲0	▲0	0	▲179
配当金の支払額	▲451	▲530	▲79	▲943
その他	▲220	▲162	58	▲324
財務活動によるキャッシュ・フロー	907	▲960	▲1,867	▲130
キャッシュ・フロー期末残高	12,769	13,101	332	11,286

# 11. 連結設備投資額

(単位:百万円)

	2018年 3月期	2018年 9月期	2019年 3月期	2019年 9月期	2020年 3月期予想
設備投資額	4,766	2,967	4,872	1,889	3,300
減価償却費	2,897	1,526	3,267	1,536	3,200

# 12. 下期の取り組み

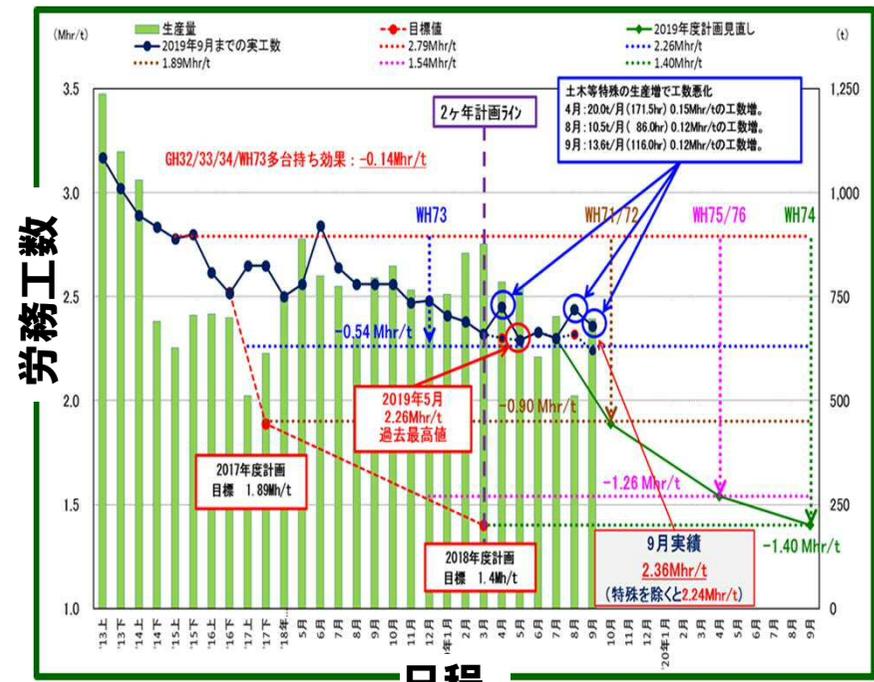
**ネットレングループ全部署において、徹底的な原価低減への取り組み**  
**固定費の適正化・生産性向上**  
**新商品・新工法の投入・拡販**



いわき工場 フープ筋の自動化ラインの例

- 設備の自動化
- 設備レイアウトの最適化
- 設備統合・複合化
- IoTの促進 (生産の見える化)

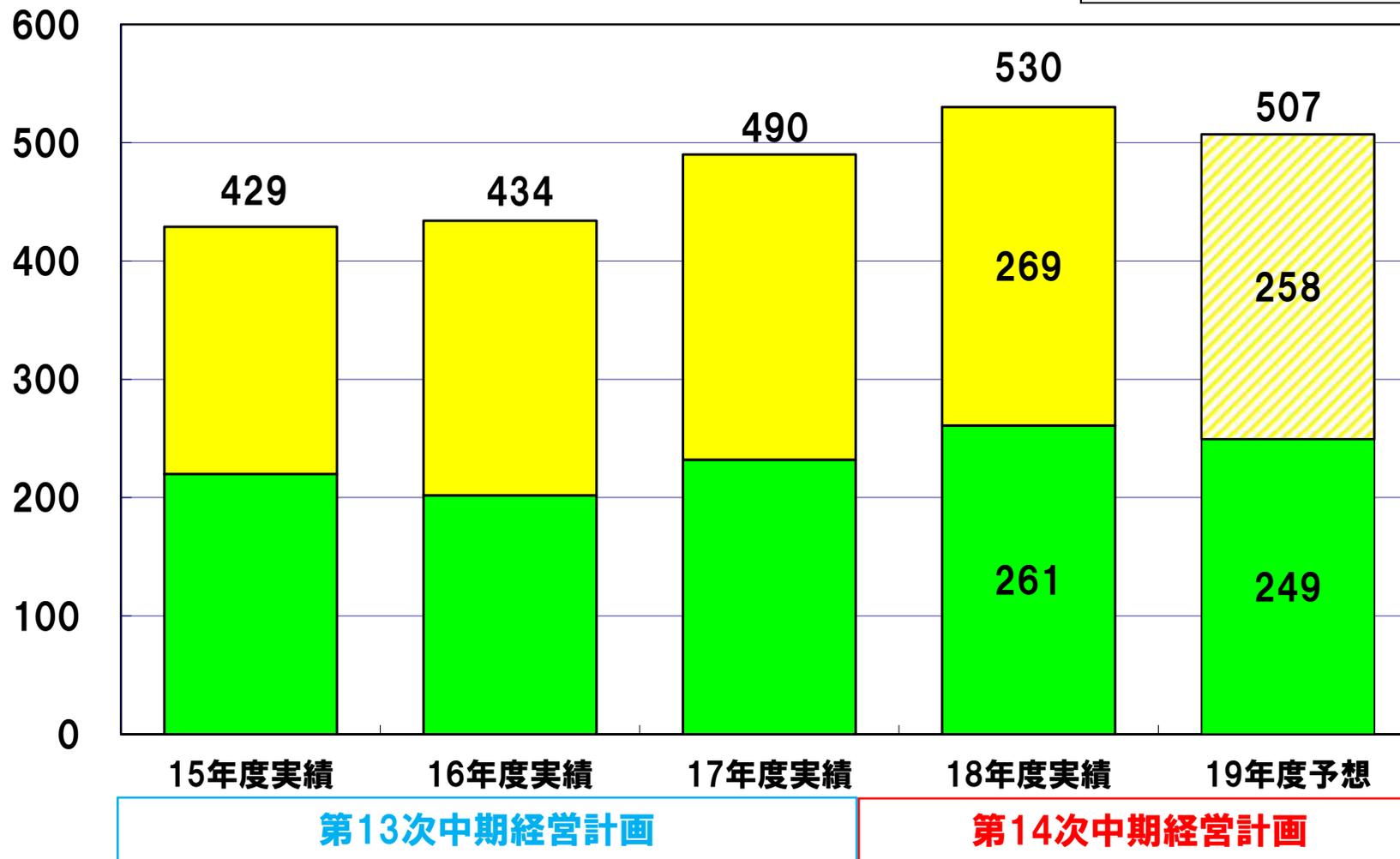
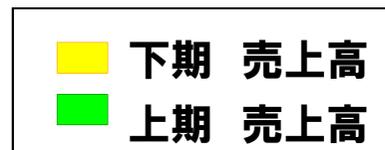
**労務工数**  
**1/2へ**



## II. 経営実績の推移

# 13. 連結売上高の推移

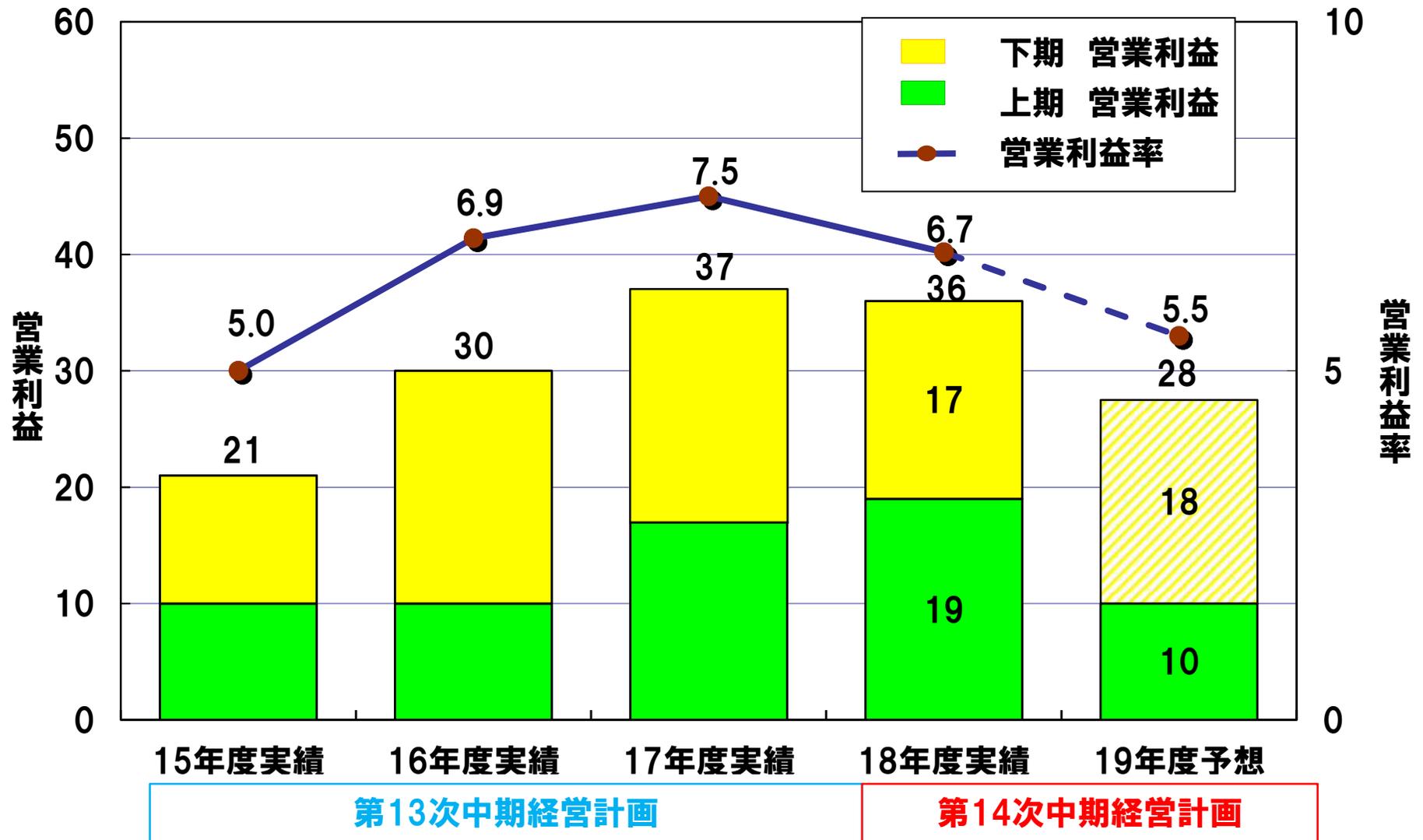
(単位:億円)



# 14. 営業利益・営業利益率

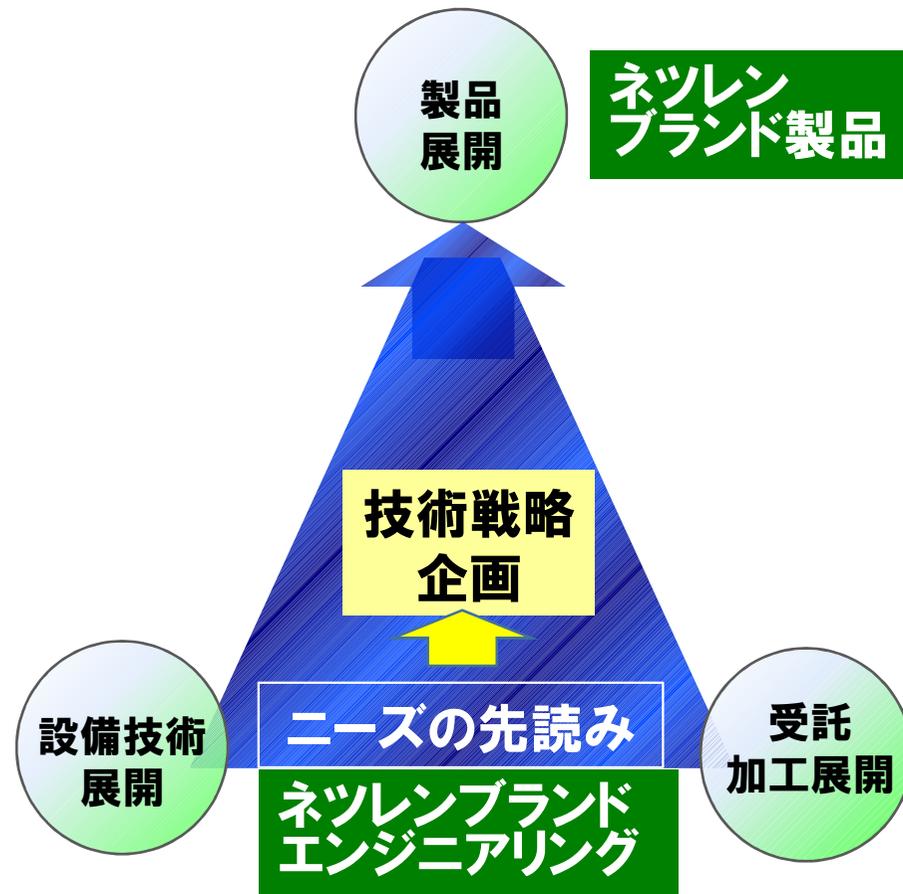
(単位:億円)

(単位:%)



# 15. セグメントの変更 (2019年4月)

一貫加工であるネツレンブランド製品の事業効率化とお客様満足度の一層の向上を目的とした組織変更を行いました。



(従来)

事業区分	主な製品
製品事業部 関連事業	PC鋼棒関連製品 高強度ばね鋼線ITW <sup>®</sup>
I H 事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置 中空ラックバー 建機用旋回輪

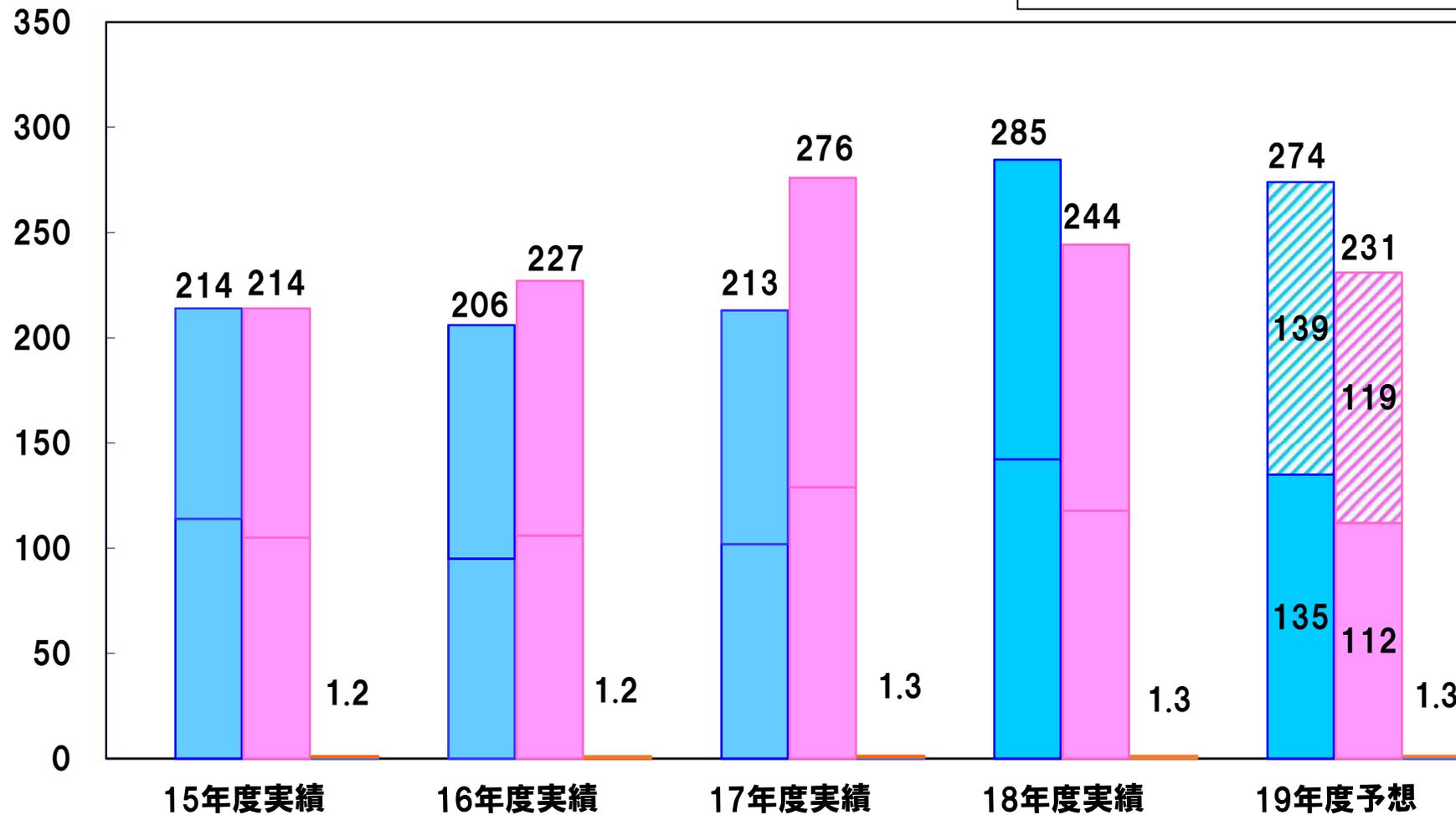
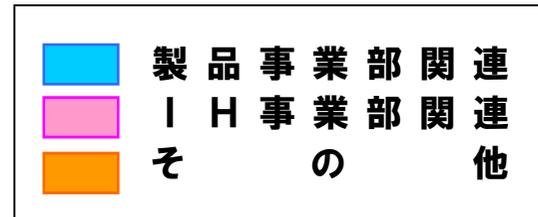


(変更後)

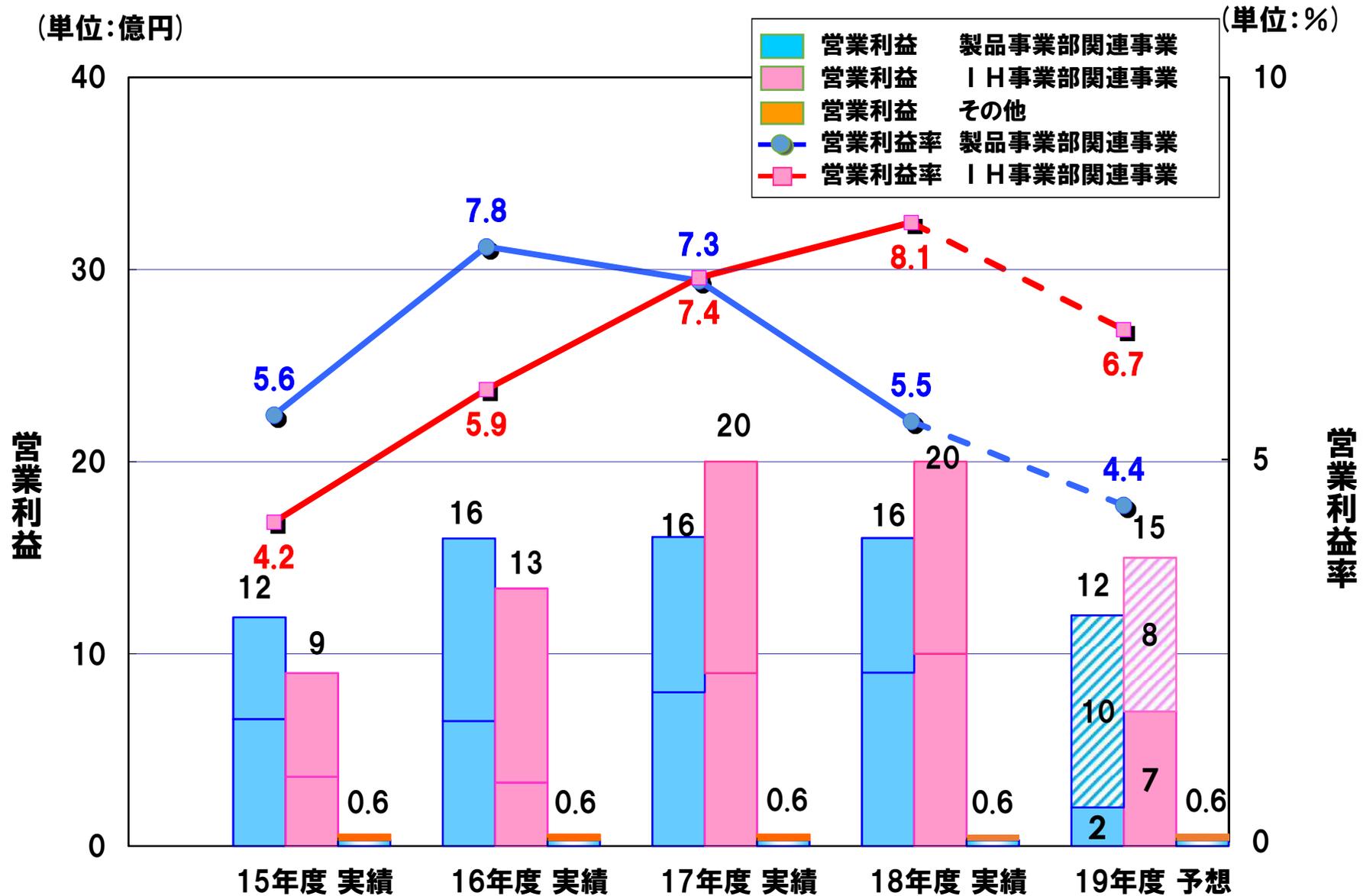
製品事業部 関連事業	PC鋼棒関連製品 高強度ばね鋼線ITW <sup>®</sup> 中空ラックバー 建機用旋回輪
I H 事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置

# 16. セグメント情報（連結売上高）

(単位:億円)

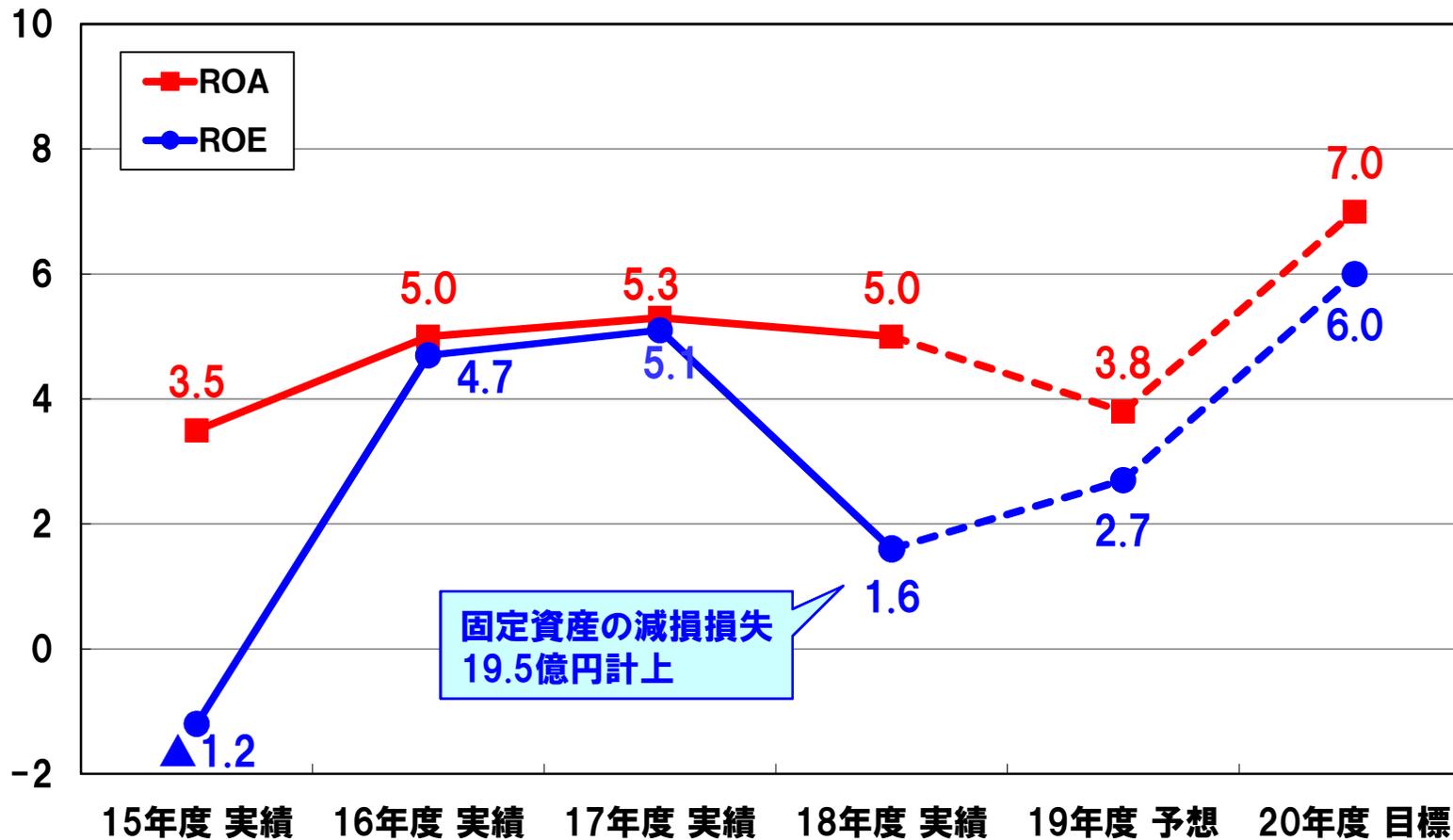


# 17. セグメント情報 (営業利益・営業利益率)



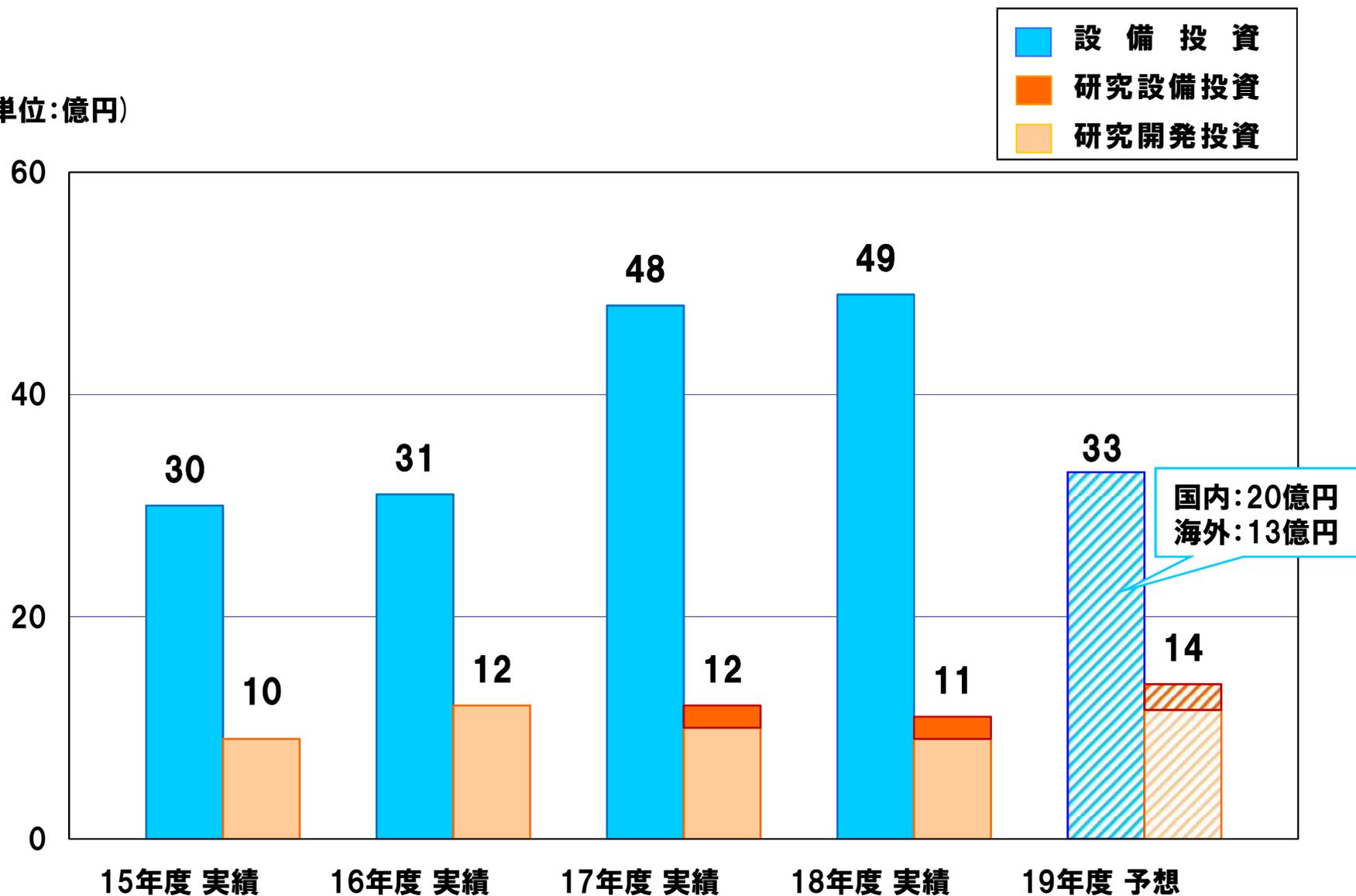
# 18. ROA・ROEの推移

(単位:%)



# 19. 設備投資・研究開発投資の推移

(単位:億円)



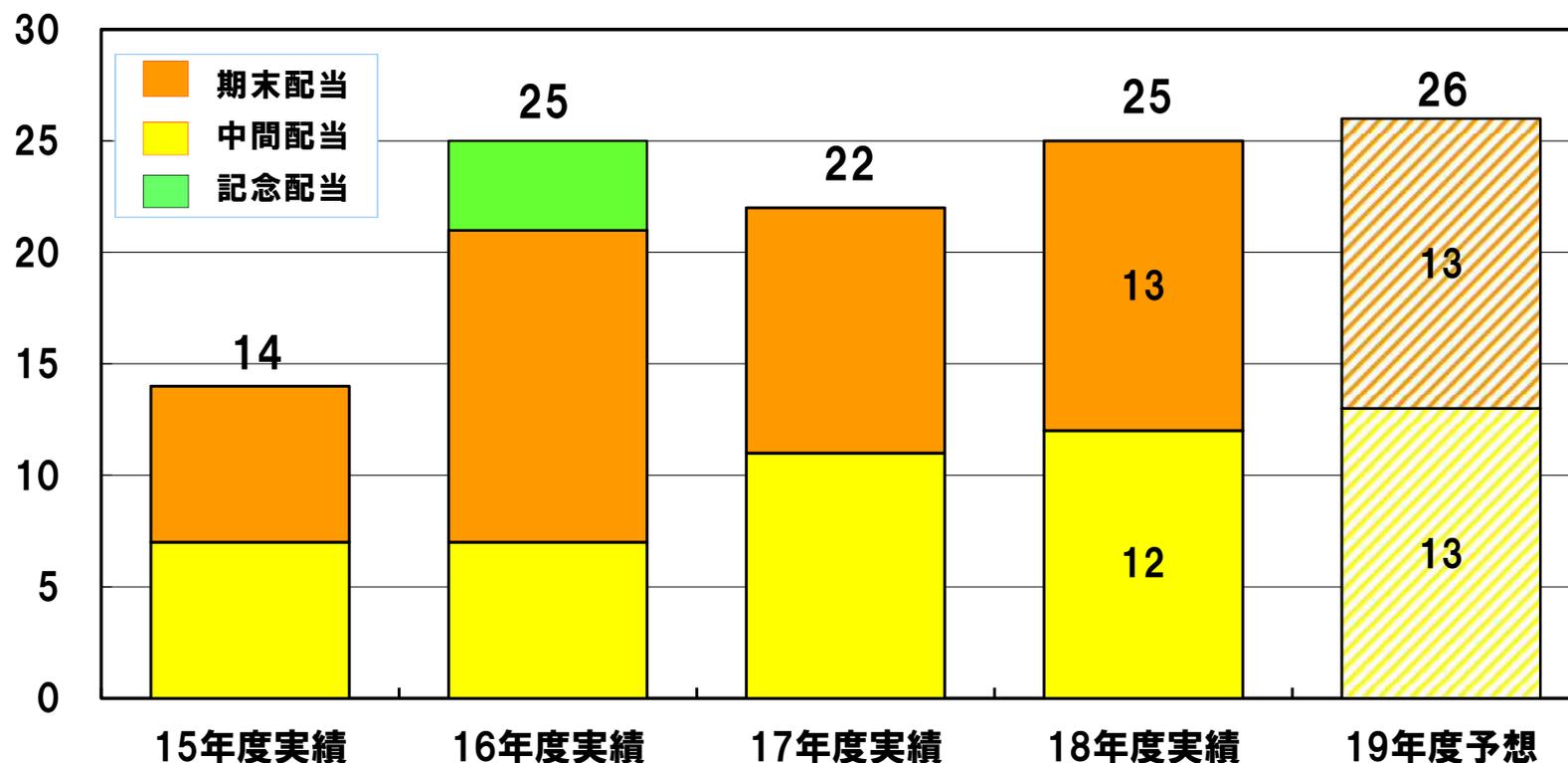
## 20. 配当政策の推移

### 基本方針

「安定した配当」を基本としており、当面、1株当たり年10円を下限とし、「業績に応じた利益配分」については、連結配当性向40%以上を目処としています。

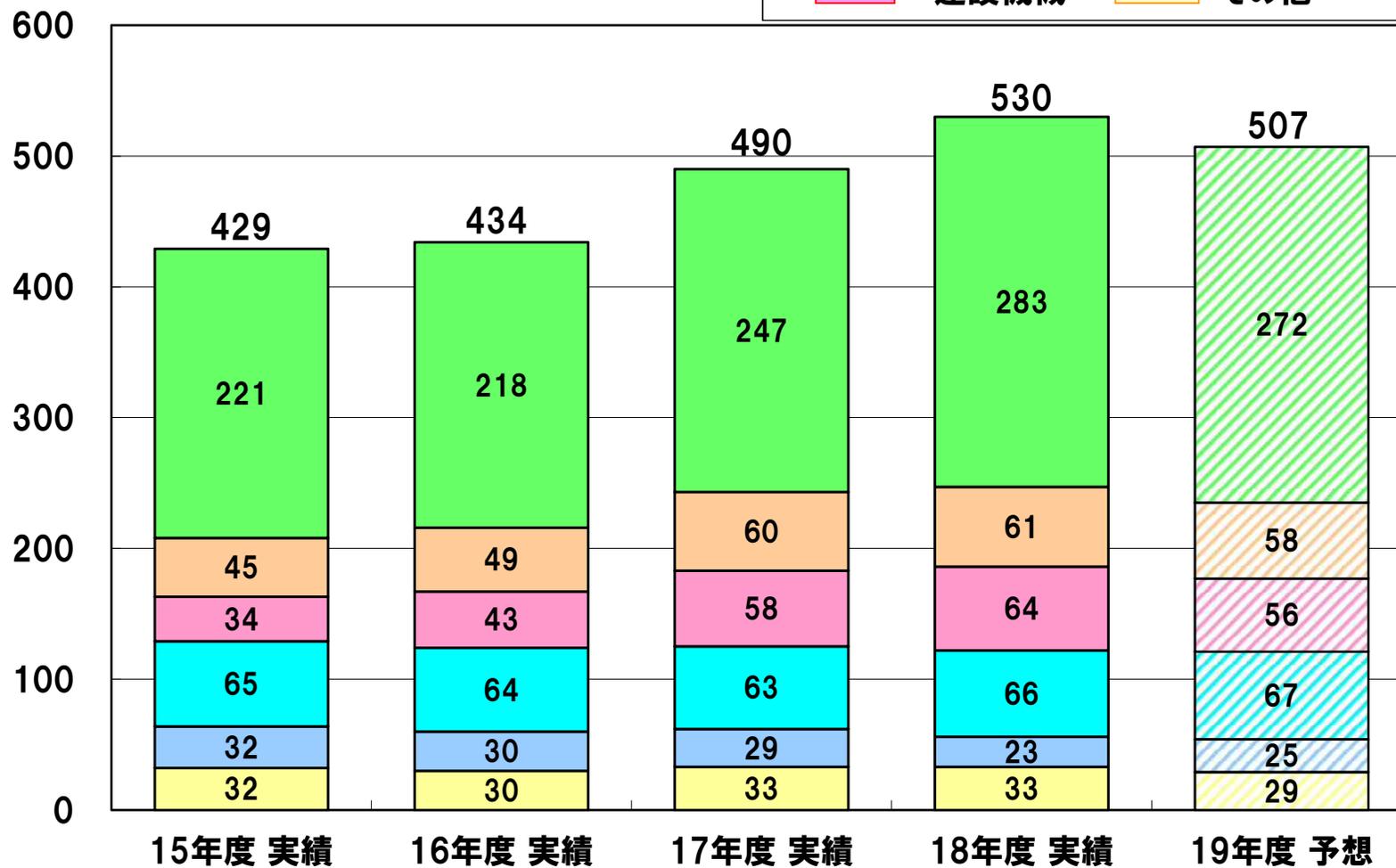
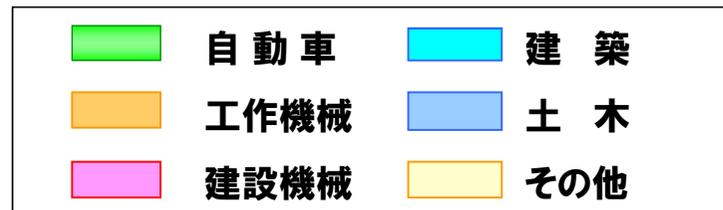
〈18年度より連結配当性向40%以上に変更〉

(単位:円)



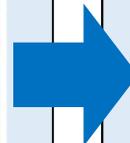
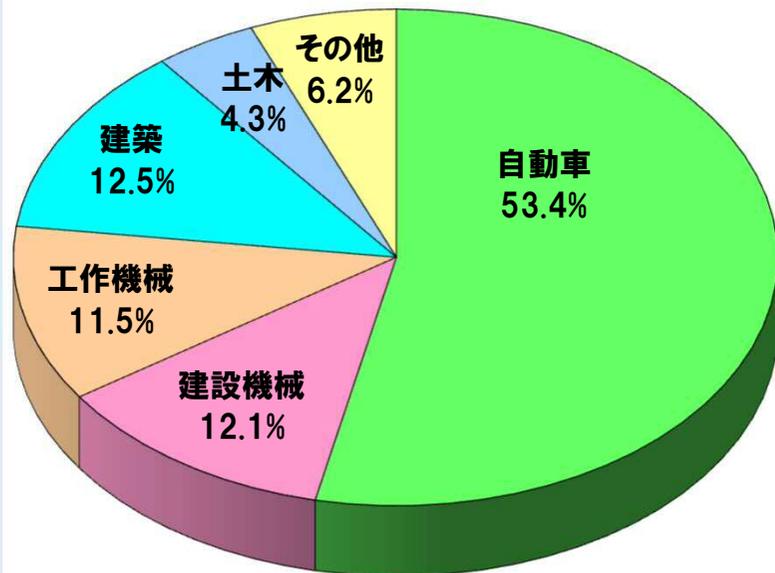
# 21. 業界別売上高の推移

(単位:億円)

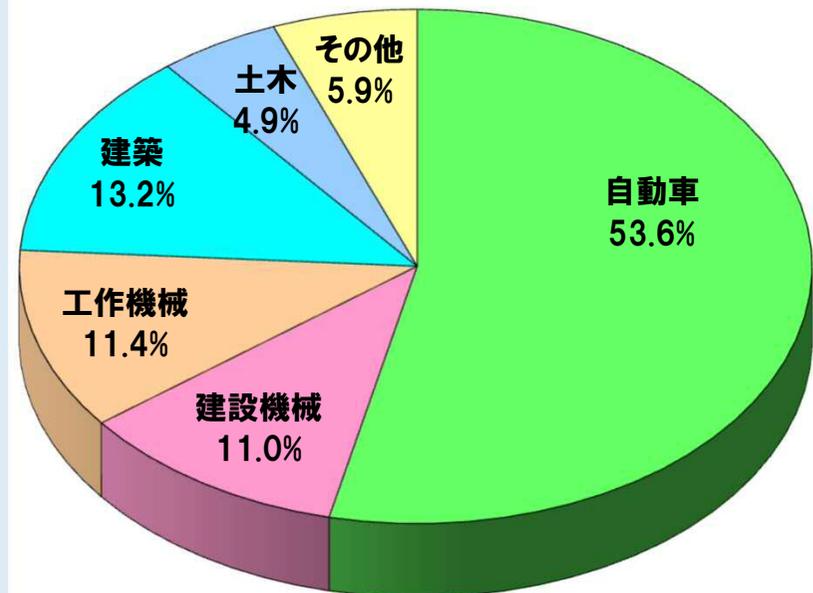


## 22. 業界別売上高比率

### 2018年度 実績



### 2019年度 予想



### Ⅲ. 第14次中期経営計画の状況

## 23. 第14次中期経営計画の状況①

スローガン 「Accomplish V-20」

【趣旨】 NETUREN VISION 2020 の総仕上げ、未来永劫進化するネツレンを実現するために、総力を結集して14次中計を完遂する覚悟を表現

第1の柱: 新技術・新商品・新規事業の迅速な開発と市場投入  
第2の柱: 現在と未来を担うグローバル人財の確保と育成  
第3の柱: 安全・品質・CSR活動のグローバル体制の構築

### 【連結目標】

	2019年3月期 実績	2021年3月期 目標
売上高	530億円	570億円
営業利益	36億円	45億円
営業利益率	6.7%	7.9%
ROA(総資産経常利益率)	5.0%	7%以上
ROE(株主資本純利益率)	1.6%	6%以上

# 24. 第14次中期経営計画の状況②

## 第1の柱: 新技術・新商品・新規事業の迅速な開発と市場投入

### 『進化する技術開発力の創成』を推進

世界一の  
材料改質/ IH技術で  
世界一の製品を!

具現化

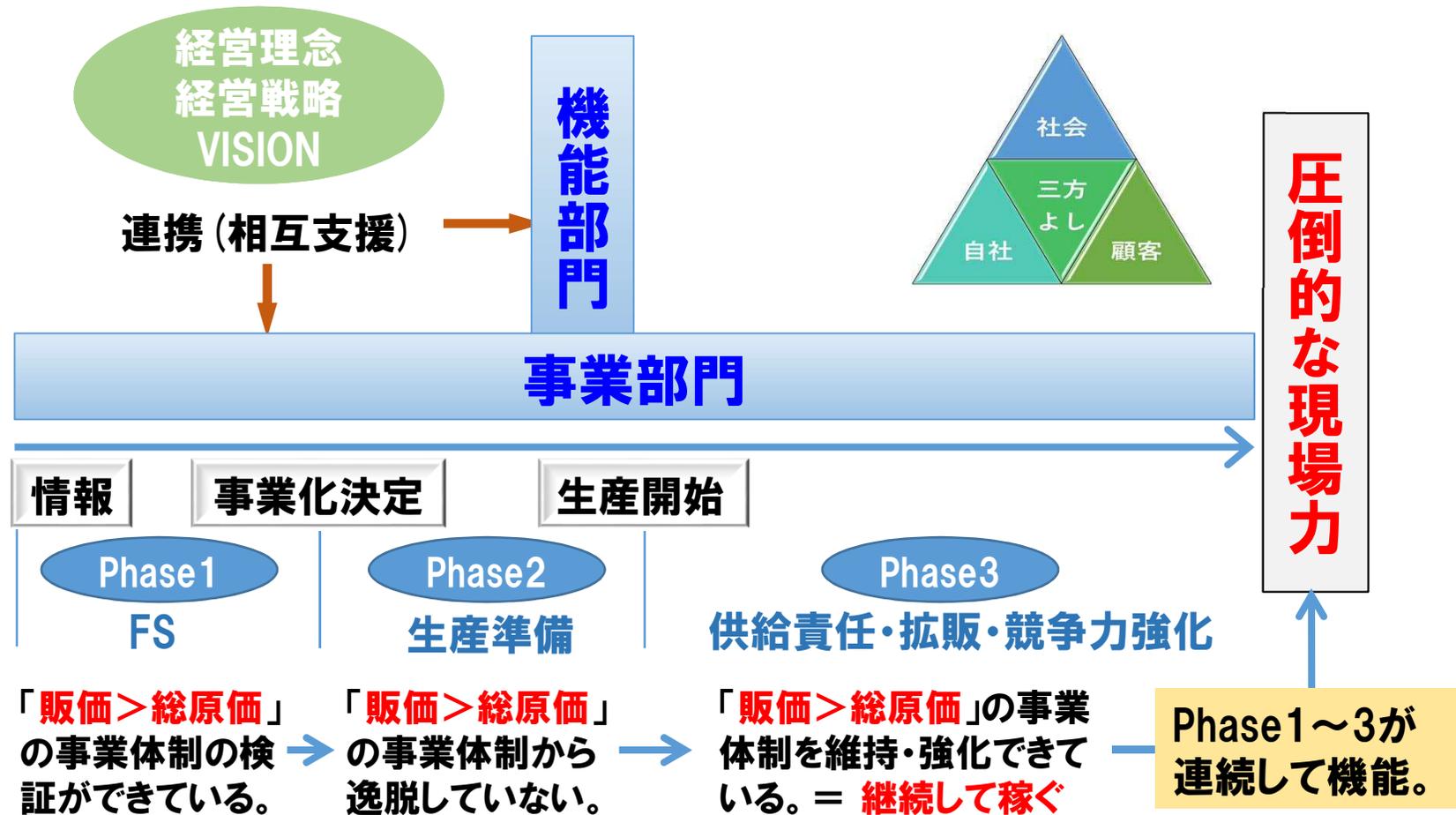


進化する技術開発力の概念図 (研修会でのまとめ資料より抜粋)

# 25. 第14次中期経営計画の状況③

## 第1の柱: 新技術・新商品・新規事業の迅速な開発と市場投入

### 『圧倒的な現場力の創成』を推進



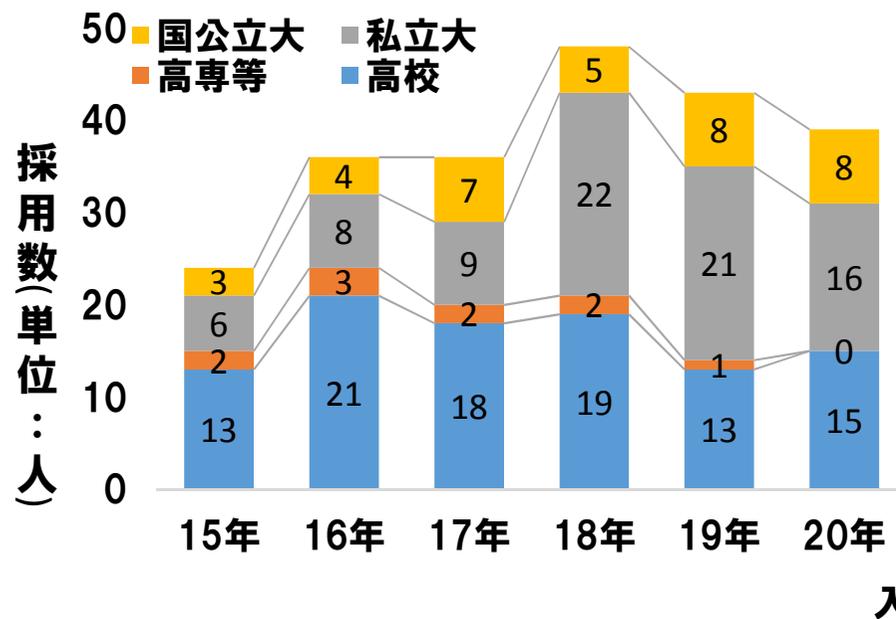
圧倒的な現場力の概念図(研修会でのまとめ資料より抜粋)

## 26. 第14次中期経営計画の状況④

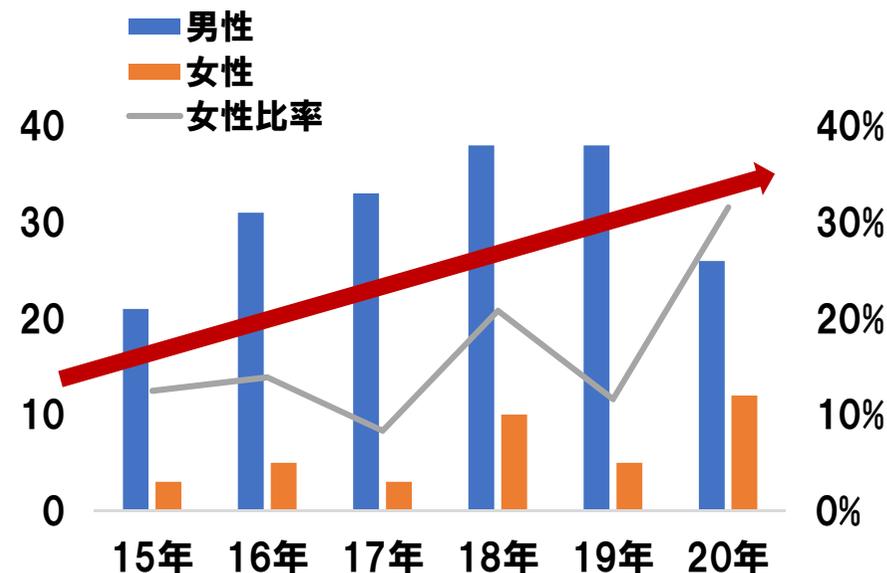
### 第2の柱: 現在と未来を担うグローバル人財の確保と育成

全社視点から多角的かつ柔軟な人財の確保と育成を確実に推進。

【採用】 新卒採用人数と学校群の推移



新卒採用女性比率推移



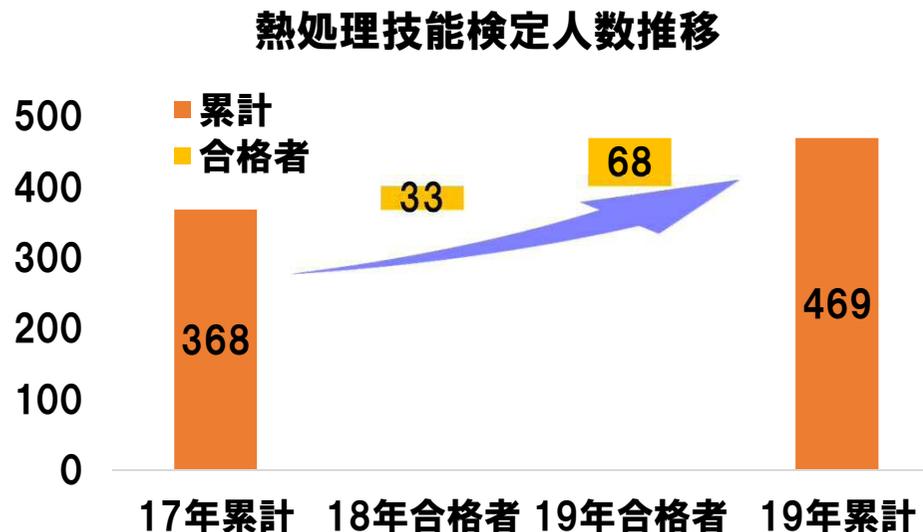
- ⇒ 将来の「**グローバルに熱処理・加工技術を支える人財**」: 海外での活躍や海外取引を国内から支援する業務を希望する学生もOB・OGの協力を得て積極的に採用。
- ⇒ 多様な人財確保のため、女性が活躍できる職場拡大に向けた取り組みを推進。

## 27. 第14次中期経営計画の状況⑤

### 第2の柱: 現在と未来を担うグローバル人財の確保と育成

“進化”する人づくりを目指し、研修施設「人財育成センター」にて学びを実践につなげる人財育成システムを始動。

#### 【育成の取組み】



グループ討議の様子

- ⇒ 将来の「熱処理・加工技術を支える人財」を育てるため、金属熱処理技能士の検定合格を視野に入れた**熱処理技能一貫教育**および**教育ツール**を充実化。
- ⇒ **他部門、国内外へのジョブ・ローテーション**も貴重な育成の機会として計画的に実施する方向。
- ⇒ **自由闊達に議論**する、お互い気兼ねなく意見交換する企業風土の進化と、社員一人一人が互いに教え合い**実践力・主体性**を習得することも狙い、グループ討議の研修講座を開発・推進。

## IV. 新技術・新商品・新規事業の開発と市場投入

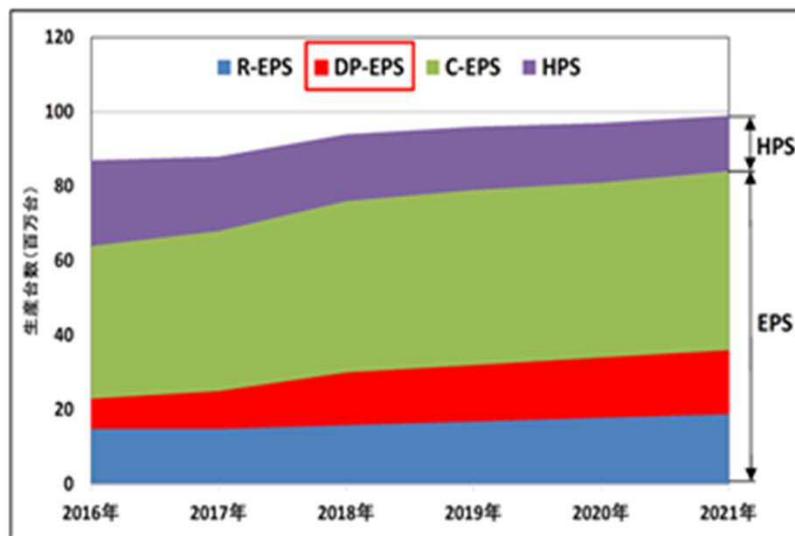
## 28. ハイブリッドラックバー (デュアルピニオンEPS用)

当社独自の冷間逐次成形により加工された中空ラックバーと中実ラックバーを接合したハイブリッド型ラックバーを開発。世界初の製品として市場への供給を開始。



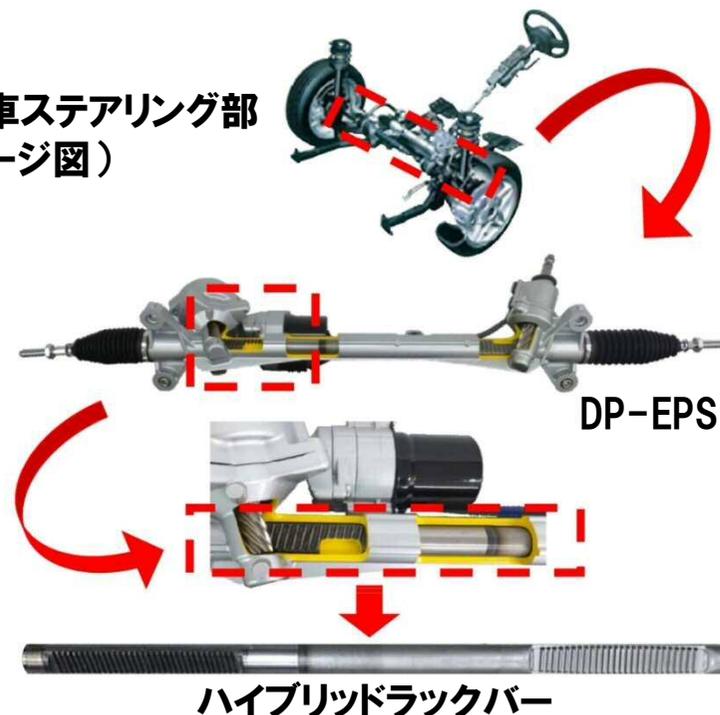
2019年“超”モノづくり部品大賞・モビリティ関連部品賞  
(モノづくり日本会議・日刊工業新聞社 主催)を受賞

ステアリングタイプ別生産予測



出典: IHSマークイット (米国のエネルギー調査会社)

自動車ステアリング部  
(イメージ図)



### 【今後の展開】

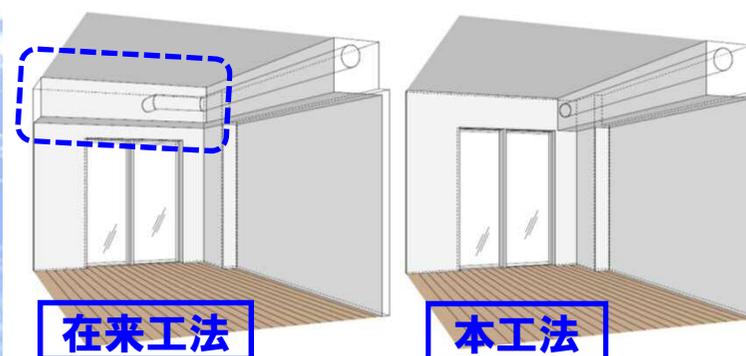
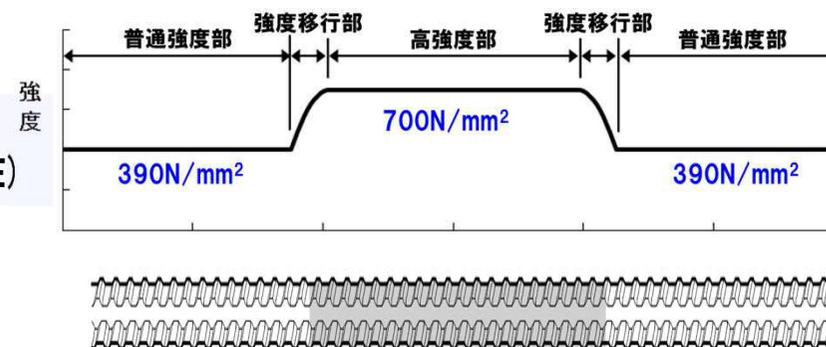
EPS市場は拡大を続けており、軽量化、ステアリングフィールの向上に寄与する当社ハイブリッドラックバーのニーズは益々高まっております。

## 29. ダブルスターク®

2018年より市場投入。適用範囲の拡大に向けてダブルスタークを用いた設計施工指標の確立を推進。



**【採用物件数】**  
2018年度: 1物件  
2019年度: 5物件 (現在)



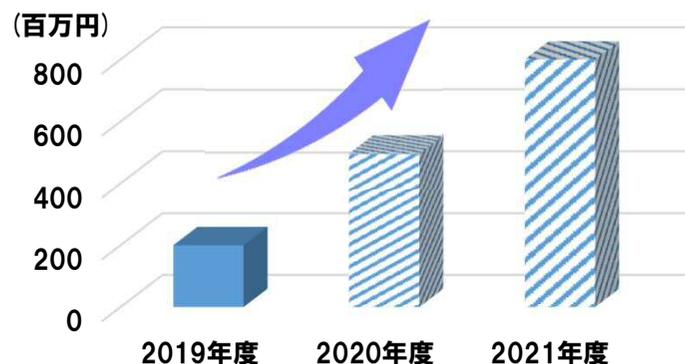
開発中の工法と組み合わせて、居住空間の拡大、豊かな採光の提供。  
鉄筋量を従来より20～30%低減でき、省資源およびCO<sub>2</sub>排出軽減に貢献。

## 30. カットオフ新算定式に基づく『ウルボン®1275せん断補強筋』 NETUREN

昨年度、当社『ウルボン®1275せん断補強筋』を用いた梁の鉄筋長さを短縮できる「カットオフ必要長さ算定式」の性能評価を取得。

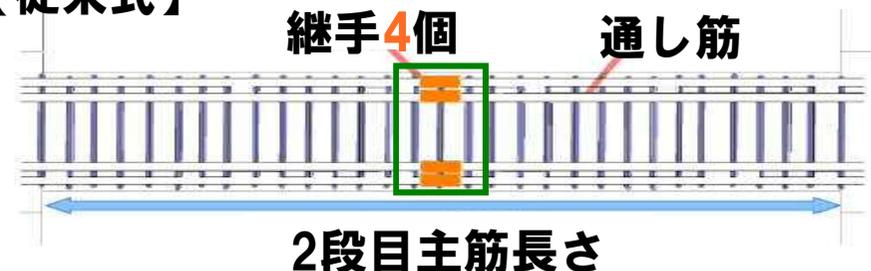
2019年5月より、新算定式が採用された建物への納入開始。

【売上高予想】

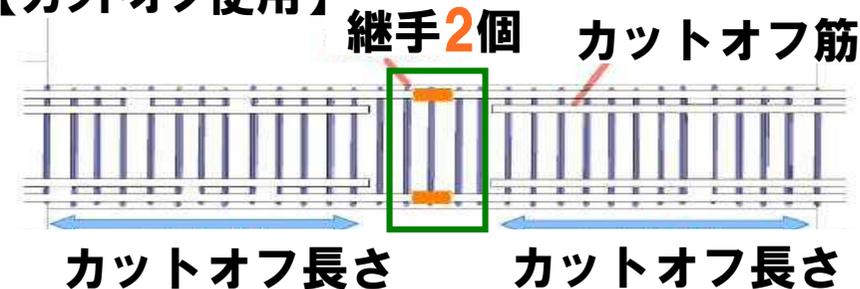


新算定式の採用により、お客様での大幅なコスト低減（継手費用、取り付け工数）に貢献。

【従来式】



【カットオフ使用】



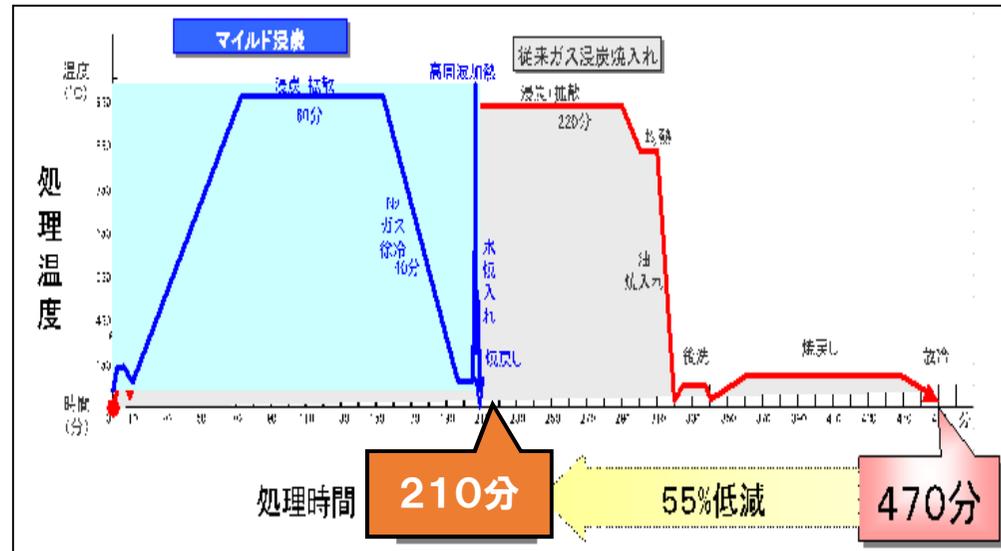
※カットオフとは、鉄筋コンクリート造の柱や梁の主筋配筋を部材の途中までとすること。

# 31. マイルド浸炭事業の拡大

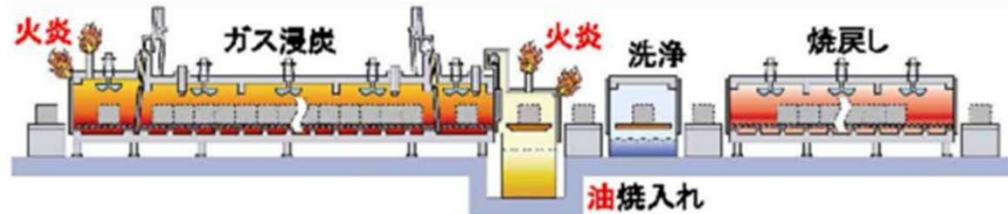
(単位:億円) マイルド浸炭 売上高予想



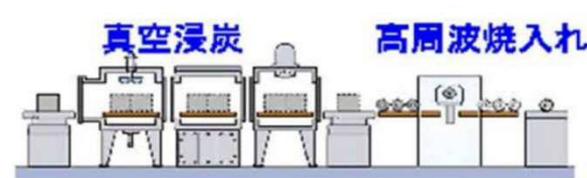
- ① アイシン・エィ・ダブリュ殿の開示ご承認済
- ② 2017年から本格的な事業展開を開始



## 従来浸炭



## マイルド浸炭ライン

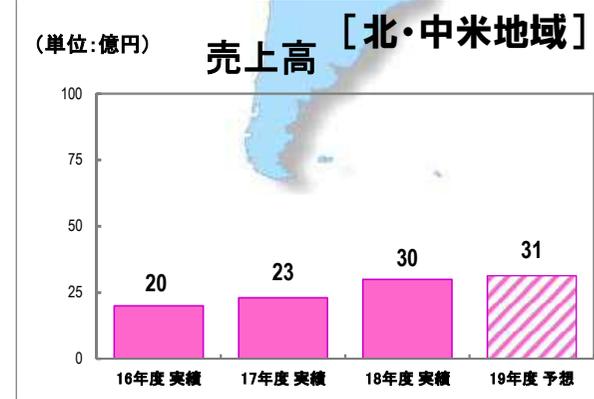
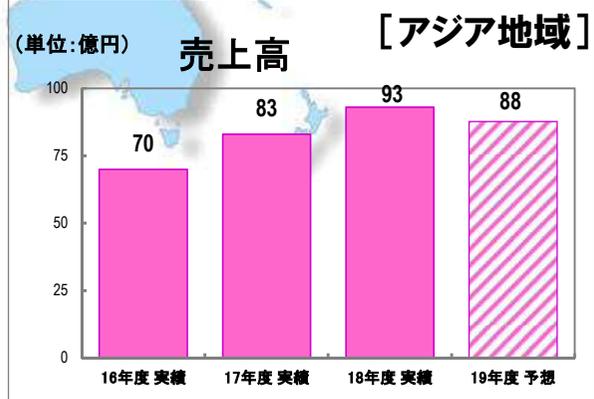
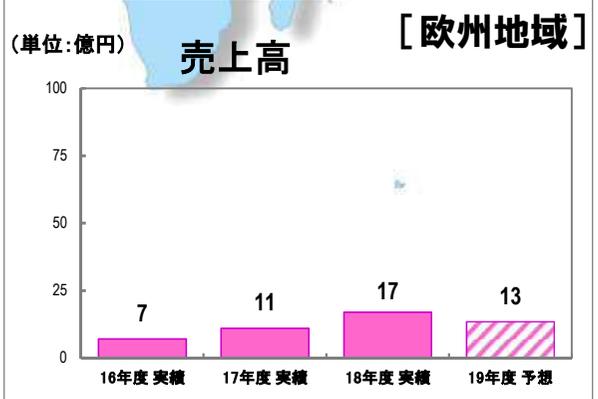


- CO<sub>2</sub> 排出40%減
- 処理時間55%減
- ライン長さ45%減
- 低変形化の実現 etc.

# 32. グローバル事業の展開

## 海外事業展開の状況

6カ国 10社（子会社）



※グループ内取引を含む。  
 ※日本からの輸出は含まず。

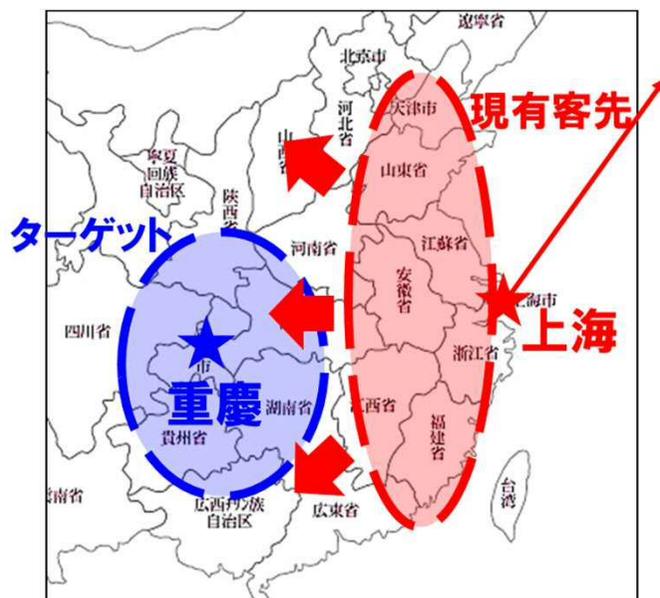
# 33. ITW®のグローバル事業展開

## 中国の高強度ばね鋼線ITW®の生産能力を拡張

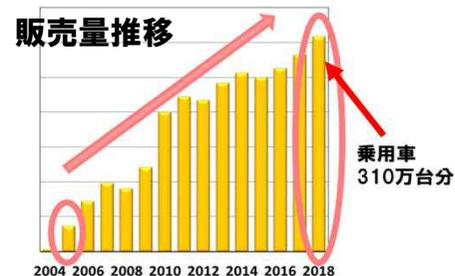


### 中国 上海中煉社の第二工場設立

発展著しい内陸部での需要を取り込むため、**重慶**に第二工場を設立、工場建設開始。  
2020年下期からの操業開始を計画。



上海中煉線材有限公司 (2004～)



### 「煙台格爾熱煉科技發展有限公司 (Yantai Koal Neturen Auto Parts Co., Ltd.)」の設立へ

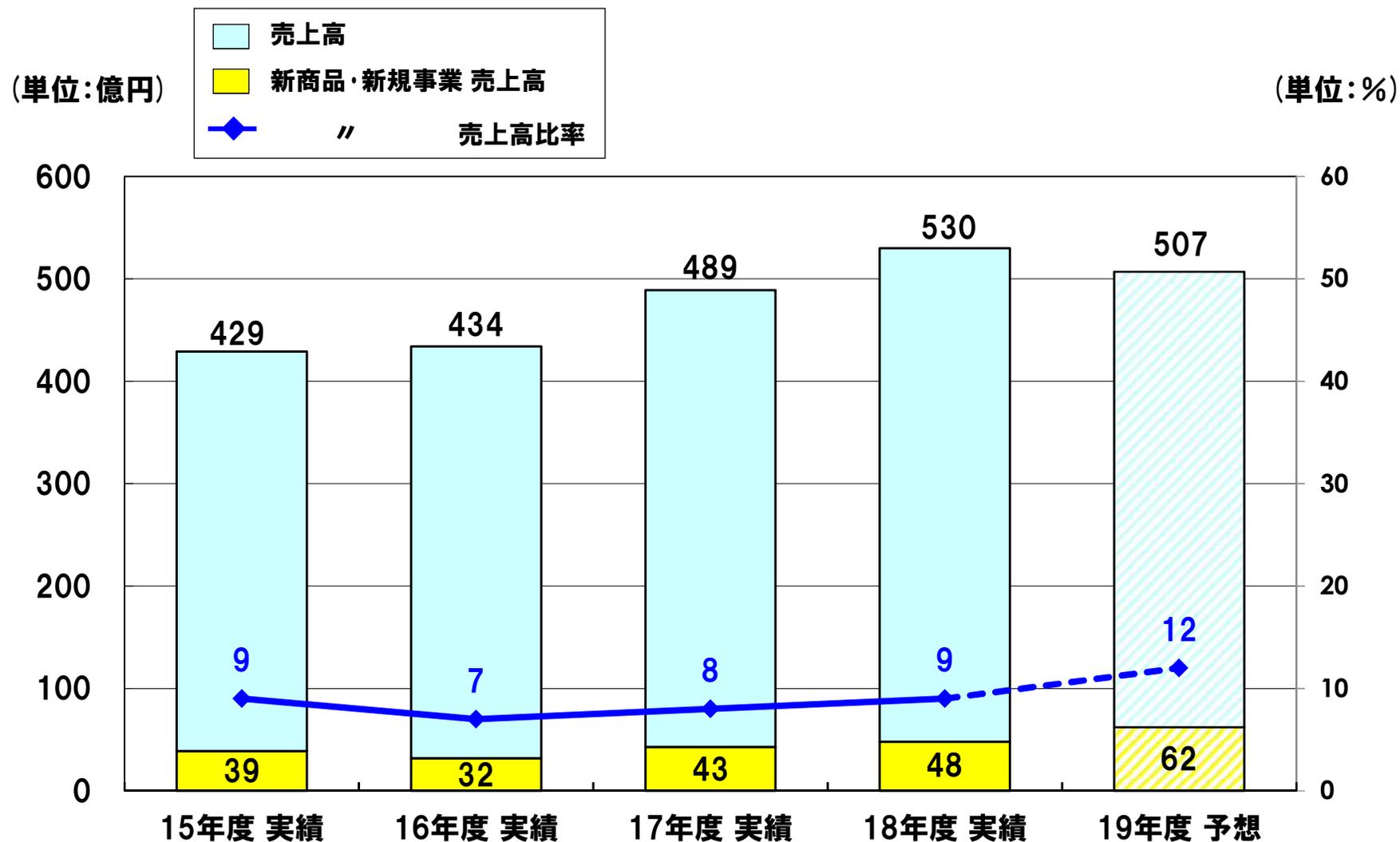
中国での自動車ステアリング部品に使用される中空ラックバーの製造・販売を目的とした合併会社設立に向けて、顧客での品質評価試験、需要量に関する協議を合併パートナーと協働で継続実施中。  
この協議結果を含めたF/Sの評価結果で十分な事業性が確認でき次第、会社設立を予定。



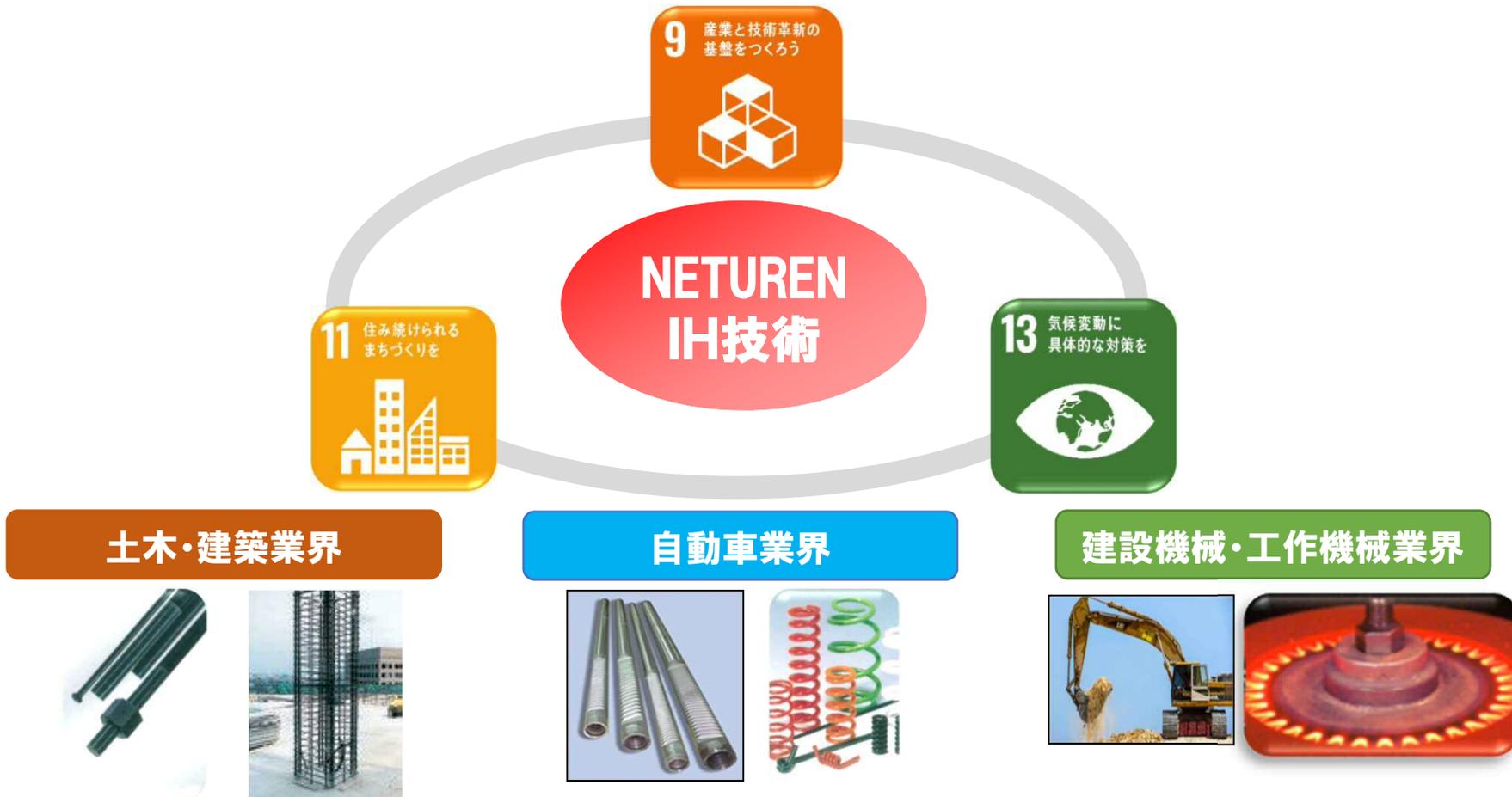
地図データ ©2018 Google、SK telecom、ZENRIN

ネットレン	51%
上海格爾汽車科技發展有限公司 (Koal社)	40%
江蘇豐東熱技術有限公司	9%

# 35. 新商品・新規事業の売上高推移



## 持続可能な社会への貢献



当社の省エネルギーなIH技術を強みに、耐久性向上、高強度化した製品の活用で少ない部材量で構築物を完成させることで、SDGsの目的でもある「持続可能な社会」への貢献をして参ります。



**(注) 当資料に記載の将来に関する予想数値は、公表時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予想数値と異なる場合があります。**